

実技協令和 6・7 年度理事長候補者選挙について

当協会会員の皆様に対しまして、令和 6・7 年度理事長候補者選挙につきまして、同選挙管理委員会・委員長より選挙結果に関する情報が提供されましたので皆さまに共有します。

結果：実技協令和 6・7 年度理事長候補者として中野洋子氏（帝京科学大学／現当協会理事長）が当選されました。

※経緯

実技協令和 6・7 年度理事長候補者選挙におきましては、2023 年 12 月に選挙管理委員会を立上げ、翌 2024 年 1 月に公示を行いました。

その後、2024 年 2 月 29 日（当日消印有効）として、自薦・推薦の両手法にて立候補の届け出を受けました。

その結果、選管事務局に届いた封書は 1 通のみであり、中野洋子氏を推薦する届けでありました。これを踏まえ、被推薦者である中野洋子氏に対しまして、推薦を受諾するか否かの意思を問う手続きを行いました結果、期限までに推薦を拒否する旨の意思表示はございませんでしたので、令和 6・7 年度理事長候補者として無投票当選となります。

なお、中野氏に対しましては、被選挙者（候補者）認定を受諾するか否かの意思確認の手続きを行った時点では、複数立候補者による投票選挙となるか否かは通知しておりませんでした。そのうえで、中野氏より被選挙者（候補者）認定の受諾の意思としまして、自身が候補者となるにあたりマニフェスト的な所信表明文のご提示がございました。

※なお、会員の皆様にご一報しておくべき情報としまして以下を記します。

今回の選挙におきまして、選挙管理事務所に届いた封書の取り扱いにつきまして若干の取り扱いミスがございました。この取り扱いミスに対する対処手法につきまして、選挙管理委員会にて議論し、当協会『役員選挙選出規程』第 6 条の「選管委が合議で行った手続きは正当とみなす。」を適用した対処を行い、封書の開封に立ち会った協会監事 2 名も参加した理事会にてその状況を報告し、何方からも意義はなく、選挙管理委員会の判断対処は問題なく、適正に選挙は成立する事を確認しました事を申し添えます。

今後の流れですが、今回の選挙結果を踏まえ、理事長候補者となられた中野氏は自身を含んだ理事候補者の人選に着手され、北九州大会の総会にて理事候補者が承認成った場合には、新理事会にて中野候補を正式に理事長として承認する否かの判断をする小理事会の場が持たれ、そこで正式に代表理事（理事長）が決まるという流れとなります。

以上、ご報告させていただきます。

実技協令和 6・7 年度理事長候補者選挙
選挙管理委員会
委員長_坂本雄二 委員一同